

令和7年度事業報告

1 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

(1) 警備業務の適正化

ア 「警備業における適正取引等に向けた自主行動計画」の周知

令和7年9月に改訂された「警備業における適正取引等に向けた自主行動計画」の周知のほか、経済産業省から（一社）全国警備業協会を通じて実施されるフォローアップ調査への協力などを行った。

イ 警備業の適切な価格転嫁の実現に向けた取組

令和5年に内閣官房・公正取引委員会が公表した「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」、令和7年6月、「経済財政運営と改革の基本方針2025」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び執行計画2025年」改訂版の閣議決定に伴う警備業での賃上げや価格転嫁の促進に関する周知。

また、令和7年10月21日（火）には、アマノ芸術創造センター名古屋にて経営者研修会を開催して令和8年1月1日施行の通称「取適法」の、適正な解釈や運用などについて周知を図った。

ウ その他

令和7年9月19日（金）「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会」を開催するなど、暴力団等反社会的勢力の排除に努めた。

(2) 専門委員会、部会、支部活動の強化

ア 専門委員会

○ 総務委員会

- ・ 令和7年5月12日（月）
議題「令和6年度事業報告・収支決算報告について」等
- ・ 令和7年9月4日（木）
議題「令和7年度補正予算（案）」、優良警備員表彰式の開催」等
- ・ 令和8年3月11日（水）
議題「令和8年度事業計画（案）、同収支予算（案）」等

○ 広報委員会

- ・ 令和7年7月25日（金）
議題「セキュリティアイチ」のデジタル化について」等
- ・ 令和8年1月（書面会議）
議題「セキュリティアイチ vol165 発刊」等
- 教育委員会 令和8年2月2日（月）
議題「令和7年度教育等実施状況、令和8年実施計画」等
- 労務委員会 令和7年6月9日（月）
議題「令和7年度労働安全研修会の開催について」等
- 業務委員会 令和7年9月12日（金）
議題「令和7年度労務単価研修会」の開催について 等
- 災害対策等委員会 令和7年11月17日（月）
議題「愛知県との災害協定について」
「スマホによる通信手段への変更及び訓練」
「令和7年度愛知県・田原市総合防災訓練への参加報告」等

イ 青年部会

- (ア) 令和7年度通常総会の開催 令和7年6月6日（金）
議題「役員改選」、「令和6年度の事業報告、収支決算報告、令和7年度の事業計画、収支予算」
- (イ) 滋賀県警備業協会青年部会第1回研修会への参加
令和7年11月14日（金）、滋賀県警備業協会青年部会が主催した見出しの研修会に青年部会長が参加
- (ロ) 令和7年度四国警備業青年部会協議会への参加
令和7年11月27日（木）、四国警備業青年部会が主催した見出しの協議会に青年部会水谷相談役、角田副部会長が参加。
- (エ) 令和7年度中部地区警備業協会連合会青年部会合同研修会への参加
令和7年12月15日（月）、三重県にて見出しの研修会が開催され、当協会青年部会長以下12名、中部地区内の青年部会員のほか、ゲストとして山梨、京都、兵庫、滋賀県の青年部会員が参加。
その後懇親会による関係青年部会との意見交換など懇親を深めた。
- (オ) 改正建設法勉強会の開催
令和8年1月15日（木）、協会研修室において、部会員等12名が参加

(カ) 名古屋市内養護施設等への寄付、寄贈に対する名古屋市長からの感謝状授与

令和8年1月29日(木)、今年で5回目となる名古屋市内養護施設への災害用保存食の寄贈及び寄付金に対して、広沢一郎名古屋市長から感謝状が授与された。

ウ 各支部の活動

令和7年4月17日(木)から同月21日(月)までの間に各支部において、研修会及び総会が開催された。各研修会においては、愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係担当官から「警備業における当面の諸問題」について講義を受けた。

(ア) 中支部

- ・ 安全パトロール 令和7年11月12日(水) 中警察署管内
- ・ 支部会及び懇親会 令和8年3月4日(水)

(イ) 北東支部

- ・ 安全パトロール
令和7年11月5日(水) 守山警察署管内
令和8年3月3日(火) 西枇杷島警察署管内
- ・ 令和7年度第1回役員会 令和7年6月12日(木)
- ・ 経営者研修会 令和7年10月10日(金)
- ・ 役員会 令和7年11月13日(木)

(ウ) 西支部

- ・ 安全パトロール
令和7年8月1日(金) 一宮警察署管内
令和7年11月7日(金) 蟹江警察署管内
- ・ 支部懇親会 令和8年2月24日(火)

(エ) 南支部

- ・ 安全パトロール 令和7年10月3日(金) 緑警察署管内
- ・ 南・三河支部合同役員会 令和7年9月2日(火)
- ・ 支部報告会 令和7年12月8日(月)

(オ) 三河支部

- ・ 安全パトロール 令和7年10月22日(水) 岡崎警察署管内

- ・ 三河・南支部合同役員会 令和7年9月2日(火)
- ・ 支部報告会及び研修会 令和7年12月19日(金)

(カ) ビルメン支部

- ・ 普通救命講習 令和7年11月18日(火)
- ・ 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の警備業務に関する説明会 令和7年12月19日(金)

(3) 経営者及び労働安全の研修会の開催

ア 令和7年度労働安全研修会の開催

令和7年7月15日(火) アマノ芸術創造センター名古屋 92社104名の労災担当者等が参加。

- ・ 名古屋大学名誉教授 福和 伸夫 氏
演題「南海トラフ地震対策と防災庁」
- ・ 愛知労働局労働基準部安全課安全専門官 桜木 勉 氏
演題「警備業における労災事故の現状と事故防止」
- ・ 愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係 小澤 忍 氏
演題「警備業の実態と業務中の受傷事故の防止」

イ 令和7年度警備業経営者研修会の開催

令和7年10月21日(火) アマノ芸術創造センター名古屋 88名の経営者等が参加。

- ・ 社会保険労務士 松下 操 氏
演題「ハラスメント防止研修」
～警備業経営者として知っておきたいハラスメント防止基礎知識～
- ・ (一社)岡山県警備業協会会長 松尾 浩三氏
演題1「警備業における適正取引・適正料金の推進に向けて」
演題2「西日本豪雨災害の復旧、復興のその後(有償出動の視点から)」
- ・ 公正取引委員会中部事務所 下請課課長 勝上 一貴 氏
演題「改正下請法 ～ 製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払いの遅延等の防止に関する法律(通称「取適法」)について～」
- ・ 愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課

演題「県内における警備業務の現状」について

(4) SDGs (持続可能な開発目標) 達成に向けた取り組みの継続推進

ア 警備員の知識及び能力の向上

法定(新任・現任)教育、特別講習の充実及び特別講習の合格率の向上のための事前講習を実施するとともに、全ての特別講習において直前セミナーを継続実施している。

また、新規警備員指導教育責任者講習合格率向上のため、講師による講習内容の見直し等綿密な講師打合せ会議を実施し、合格率の向上に資するとともに、選任指導教育責任者等に対するレベルアップセミナーを開催するなど警備員指導教育責任者の資質向上の取組を行っている。

イ 警備員の処遇の向上

警備員の賃上げ等を含め、警備業における適切な価格転嫁実現に向けた会員への周知徹底を図っているほか、適正な労務単価に向けた業務委員会及び労務単価研修会の開催や労災事故防止のための労働安全研修会を実施した。

ウ 総合的かつ効果的な災害支援活動

災害支援協力隊の活動を効果的に運用できるよう保存水、保存食の計画的配備のほか装備品等の整備を進めた。

エ 安心して暮らせる安全な社会の実現

特殊詐欺捜査協力報奨金制度の効果的運用のため協力金の増額し、継続して参画しているほか、無事故無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリーの実施、警察への犯罪被害防止啓発資機材の寄贈等、安心安全な社会の実現のための取組みを推進した。

オ 地球環境にやさしい活動

再生紙の100パーセント利用及び裏面再利用などのほか、会議時の紙パック飲料への変更によるペットボトル利用の削減を進め、環境にやさしい活動を推進した。

(5) 労働災害の防止

労働安全研修会を開催したほか、交通誘導警備業務中における労災事故の防止を目的とした各支部における安全パトロールへの同行、労災事故発生情

報の協会ホームページや等への掲載による労災事故防止啓発を実施した。

南海トラフ地震の発生が懸念されていることから、本年度の労働安全研修会において名古屋大学名誉教授 福和伸夫 氏を講師にお招きし、「南海トラフ地震対策と防災庁」と題して講話を盛り込み、災害時における労働災害防止の周知を図った。

更に、労働安全衛生法施行規則一部改正に伴い、事業者による熱中症対策が求められることから、令和7年6月30日（月）、愛知労働局労働基準部健康課労働基準監督官の向 貴久（むかい たかひさ）氏をお招きし、「熱中症対策セミナー」を開催した。

労災事故の一つである交通事故について、その防止及び交通安全意識の向上を目的に無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリーを令和7年度も実施し、会員17社、17チームが無事故・無違反を達成した。

また、労働災害防止啓発活動の一環として労災事故防止などのアイデア・ポスターの募集など、労働災害防止に向けた活動を積極的に推進した。

（6）調査への協力

（一社）全国警備業協会、関係省庁等が行う警備業務適正化のための「自主行動計画」に関する調査研究等に積極的に協力した。

2 教育センターにおける各種教育、講習など教育事業の適正な推進

（1）多様なニーズに応える教育事業の推進

会員からの多様なニーズに応え、法定教育の土曜日・休日開催、出張開催等を実施するとともに、全警協eラーニングの普及促進に努めた。

- ・ 第1回「警備員指導教育責任者レベルアップセミナー」
令和7年5月19日（月）、41名参加
- ・ 第2回「警備員指導教育責任者レベルアップセミナー」
令和7年9月25日（月）、20名参加
- ・ 法定（新任・現任）警備員教育の土・日・祝日開催
計10回（10日間）開催、受講者延べ492名
内訳） 新任教育3回（金・土2回、日・月1回）
現任教育7回
- ・ 法定警備員出張教育

令和7年度 計2回開催 計75名

- ・ 直前セミナーを全ての特別講習で実施
全ての特別講習を対象に実施。

令和7年度 計15回（土12回、平日3回）

延べ 356名受講 合格者 274名（合格率77.0%）

（2）法定教育の充実強化

令和7年度の法定警備員教育には、

延べ6,426名（うち非会員303名）（前年度対比+182名）

が受講し、その内訳は、

新任警備員教育（業務別教育を含む）延2,790名（同比+195名）

現任警備員教育 延3,636名（同比-13名）

であった。

区分	会員	非会員	計	対前年比
新任警備員教育	2,638名	152名	2,790名	+195名
	<i>2,457名</i>	<i>138名</i>	<i>2,595名</i>	<i>-288名</i>
現任警備員教育	3,485名	151名	3,636名	-13名
	(75名)	(0名)	(75名)	(+1名)
(内出張教育)	<i>3,487名</i>	<i>162名</i>	<i>3,649名</i>	<i>-25名</i>
	<i>(74名)</i>	<i>(0名)</i>	<i>(74名)</i>	<i>(-18名)</i>
計	6,123名	303名	6,426名	+182名
	<i>5,944名</i>	<i>300名</i>	<i>6,244名</i>	<i>-313名</i>

※ 下段は前年度、新任警備員教育は延べ人員である

※ 下段の斜体文字は前年度

また、全警協が提供しているeラーニングのID契約件数については、令和7年4月から全警協へのシステム申込となったことにより、確定数は不明ですが、判明している件数は427件である。

（3）特別講習の充実強化

（一社）警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習の実施状況は、

- ・ 施設警備業務1級～1回

受講者 45 名 合格者 35 名 合格率 77.8%

- 施設警備業務 2 級～ 4 回

受講者 253 名（うち再受講 15 名）合格者 212 名（うち再受講 11 名）
合格率 83.8%

- 交通誘導警備業務 2 級～ 6 回

受講者 391 名（うち再受講 28 名）合格者 251 名（うち再受講 15 名）
合格率 64.2%

- 雑踏警備業務 1 級～ 1 回

受講者 58 名（うち再受講 0 名）合格者 52 名 合格率 89.7%

- 雑踏警備業務 2 級～ 3 回

受講者 170 名（うち再受講 7 名）合格者 153 名（うち再受講 6 名）
合格率 90.0%

であった。

全受講者 917 名（うち再受講 50 名）中、合格者 703 名（うち再受講 32 名）、
合格率 76.7%であった。

本年度、受講者数は前年度より若干減少しているものの、合格率は、昨年
比 1 ポイント上昇した。

種 別	実施回数	受 講 者	合 格 者	合 格 率
施設警備業務 1 級	1	45 名	35 名	77.8%
	1	61 名	52 名	85.2%
雑踏警備業務 1 級	1	58 名	52 名	89.7%
	—	—	—	—
貴重品運搬警備業務 1 級	—	—	—	—
	—	—	—	—
施設警備業務 2 級	4	253 名	212 名	83.8%
	4	249 名	205 名	82.3%
交通誘導警備業務 2 級	6	391 名	251 名	64.2%
	6	381 名	248 名	65.1%
雑踏警備業務 2 級	3	170 名	153 名	90.0%
	3	191 名	163 名	85.3%

貴重品運搬警備業務 2 級	—	—	—	—
	<i>1</i>	<i>65 名</i>	<i>49 名</i>	<i>75.4%</i>
合 計	15	917 名	703 名	76.7%
	<i>15</i>	<i>947 名</i>	<i>717 名</i>	<i>75.7%</i>

※ 下段の斜体文字は前年度

(4) 警備員指導教育責任者等の講習会及び研修会の開催

ア 警備員指導教育責任者講習

愛知県警察本部からの委託事業である警備員指導教責任者講習の実施状況は、

- ・ 新規
 - 1号業務 3回 受験者 140名 合格者 100名 (合格率 71.4%)
 - 2号業務 3回 受験者 125名 合格者 49名 (合格率 39.2%)
 - 3号業務 1回 受験者 12名 合格者 9名 (合格率 75.0%)
- ・ 追加
 - 1号業務 1回 受験者 15名 合格者 13名 (合格率 86.7%)
 - 2号業務 1回 受験者 21名 合格者 19名 (合格率 90.5%)
 - 3号業務 1回 受験者 1名 合格者 1名 (合格率 100.0%)
 - 4号業務 1回 受験者 14名 合格者 14名 (合格率 100.0%)
- ・ 現任
 - 1号業務 5回 受講者 210名
 - 2号業務 6回 受講者 249名
 - 3号業務、4号業務実施なし

であった。

平均合格率は、新規で 57.0%、追加 92.2%であった。

新規 2号業務の合格率が極めて低調で、前年度対比で 8.7ポイント低下した。追加 2号業務では、23.8ポイントと追加では大幅に合格率が向上した。

種 別	回数	受講者	受験者	合格者	合格率
新 規 取 得 講 習	7	280 名	277 名	158 名	57.0%
	<i>9</i>	<i>271 名</i>	<i>270 名</i>	<i>163 名</i>	<i>60.4%</i>

追加講習	4	51名	51名	47名	92.2%
	4	43名	42名	33名	78.6%
現任講習	11	459名			
	13	459名			
機械警備業務管理者講習	1	20名	20名	8名	40.0%
	1	15名	15名	8名	53.3%
合計	23	810名	348名	213名	61.2%
	27	788名	327名	204名	62.4%

※ 下段は前年度、受験者等については現任講習を除く

※ 下段の斜体文字は前年度

イ 警備員指導教育責任者研修会の開催

令和7年9月24日（水） アマノ芸術創造センター名古屋
選任警備員指導教育責任者等 170社、191名が参加。

- ・ （一社）全国警備業協会

研修センター教育企画第一課長 板垣 将司 氏

演題「警備員教育の現状と今後について」

- ・ 賛助会員による警備員新作制服ファッションショー、装備品紹介
業務管理システムなど紹介
- ・ 愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係 梶原 三奈 氏
演題「警備員指導教育責任者の責務」
- ・ 独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構 担当者
高年齢者雇用関係助成金について

(5) 機械警備業務管理者研修会の開催

令和7年11月20日（木）、協会研修室において講師を招き、見出しの研修
会を開催。会員会社担当者 39名が参加。

- ・ セコム株式会社中部本部 管制司令担当 武内 悦史 氏
演題「基地局からの指令要領」
- ・ 名古屋市消防局消防部 消防司令補 内藤 陽介 氏
演題「適切な119番通報について」
- ・ 愛知県警察本部地域部通信指令課 木下 翼 氏

演題「迅速的確な指令業務と誤報の防止について」

- ・ 愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課
防犯対策係 林 賢 氏 警備業係 梶原 三奈 氏

演題「犯罪情勢及び適正な機械警備業務の実施」

(6) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

警備員指導教育責任者講習、特別講習、直接検定及び部外講習に講師等を派遣した。

(7) 第108回セキュリティプランナー講習

令和7年10月3日(金)から10月5日(日)の3日間、全警協が開催した見出しの講習について開催地事務局として業務に当たった。

3 会議の開催

(1) 定時総会

開催日 令和7年5月26日(月)

場所 名古屋市中区栄4丁目6番8号

名古屋東急ホテル「雅の間」

出席 375社(うち書面決議212社、委任状48社)

通常形式で開催

議題「任期満了に伴う後任役員選任の件」など

(2) 理事会

第1回 令和7年5月20日(火)

第2回 同 年5月26日(月)

役員改選に伴う会長・副会長、専務理事の選定

第3回 令和7年9月19日(金)

愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会

第4回 令和7年12月17日(水)

サイバー犯罪被害防止講話

第5回 令和8年3月27日(金)

4 広報啓発活動の積極的推進

(1) 人手不足解消、業界の知名度アップに資する広報啓発

ア ハローワークとの連携による人材不足解消に向けた広報啓発

県内ハローワークと連携して、業界別セミナー等に積極的に参画し、警

備員の業務に興味のある求職者に対して、警備業務や業界の魅力などを広報した。

令和7年度 計16回

名古屋南6回、名古屋中3回、犬山2回、半田2回

名古屋東、一宮、豊橋各1回

イ 事業者向け人材確保に向けたセミナー等への参加

- ・ 事業者向け人材確保セミナー

令和7年6月20日（金）、ハローワーク名古屋中主催の見出しのセミナーに参加し、警備員の人材を求める会員企業などへ「警備業界における人材確保の現状と対策」について講話を実施した。

- ・ 事業所向け外国人雇用セミナーへの受講参加

令和7年8月27日（水）、ハローワーク名古屋中が主催した見出しのセミナーに参加し、「外国人の雇い入れ方法」、「好事例」等を協会職員として受講した。

- ・ 「人マチ EXPO」（6分野の職業体験会）への出展

令和7年8月8日（金）、ハローワーク名古屋中が主催した見出しの体験会に警備業界として出展し、多くの来場者へ体験を通じて警備業の魅力を広報啓発した。

ウ 愛知県「中小企業人材確保支援事業」への協力

昨年同様、愛知県が実施する当該事業を協会ホームページで会員会社等に広く紹介し、参加企業の募集等で事業協力を行った。

(2) 協会、業界への理解を深める広報啓発

ア 協会ホームページの充実

ホームページを運用し、各種事業や有益な情報をタイムリーに発信するとともに、法定教育の申込をはじめ研修会等の申込などデジタル化に向けて充実を図った。また、親しみやすいホームページとするため、ブログによる情報公開をしたほか、ホームページ掲載時に全会員に対してメールを送信し閲覧効果の向上を図った。

イ 機関誌、広報紙の発行

- ・ 機関誌「セキュリティアイチ vol.64（8月号）」を発刊。

特集では「加盟会社における労働災害事故の発生状況」、「職場による

熱中症対策の強化」を特集として掲載し、労災事故防止に向けた意識の醸成に特化して社会情勢に即した情報を会員に提供した。

- ・ 機関誌「セキュリティアイチ vol.65（令和8年1月号）の発刊
同号を発刊するに当たり、従前の冊子によるものからデジタル配信方式に改め、パスワード設定したうえ、会員及び関係者が、スマートフォンやタブレット端末等により、いつでも、どこでも、何人でも同時にセキュリティ・アイチの閲覧と印刷が可能した。

5 警備業に関する功労者等の表彰（主なもの）

（1）警察庁長官・（一社）全国警備業協会会長連名表彰

酒井法丈 豊田東海警備（株） 代表取締役社長

（2）愛知県警察本部長・（一社）愛知県警備業協会会長連名表彰

・ 団体の部

（株）ガード・リサーチ

中部警備保障（株）

（株）東海ダイケンビルサービス

・ 個人の部

早田 章 名西警備保障（株） 代表取締役社長

田中友成 （株）光栄警備保障 代表取締役

高山幸雄 （株）昌和警備保障 代表取締役

・ 教育功労の部

永津明雄 （株）アオイ警備保障 顧問

大和田政孝 （株）城南警備保障 統括部長

中島洋介 日綜警備（株） 警備部長

（3）（一社）愛知県警備業協会会長表彰

・ 優良警備員

藤田憲司 （株）コアズ 以下 88 名

・ 労働災害防止に関するアイデア・ポスター優秀作品

アイデアの部 戸田巧二 総合警備保障（株）（現「ALSOK（株）」）
以下 3 名

ポスターの部 伊東貴志 エヌビーエス（株） 以下 3 名

- ・無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー達成チーム
(株)アーツ (チーム名アーツ) 以下17チーム

(4) 犯人逮捕・人命救助等による表彰

- ・特殊詐欺被害防止 (業務中)
伊藤佑太・加納壽人 ALSOK (株) 以下8名
- ・特殊詐欺被害防止 (私用)
中村 弘 CS警備保障 (株)
- ・火災消化活動
星が丘グループ警備隊 ALSOK愛知 (株)
- ・人命救助等の功労
坂口竜ノ介 セコム(株) (高齢者保護)
大金正義 総合警備保障 (株) (現「ALSOK (株)」) (乳幼児保護)

6 警備業に関する相談及び苦情の処理

令和7年度中、外国人の雇用、警備業務の解釈について等に関する相談の他、警備員採用の面接の際に提出した履歴書を返してもらえないなど警備業者に対する苦情等13件を受理し、適正に処理した。

7 警備技術等に関する調査研究及び教育関係図書等の紹介・斡旋

警備用品を取り扱う賛助会員の参加協力を得て、警備員指導教育責任者研修会や新年交礼会等の機会を捉え、最新制服のファッションショーや最新警備用品の展示説明会を開催し、導入への啓発支援を行った他、各種教育・講習に係る教育関係図書・DVD等を積極的に斡旋し、警備員の資質向上と業界の信頼醸成を図った。

8 地域安全、交通安全、災害対策等の社会貢献活動の推進

(1) 特殊詐欺捜査協力報奨金制度

令和3年7月から運用を開始した「愛知県特殊詐欺撲滅プロジェクトチーム」(当協会を含む4団体)による「特殊詐欺捜査協力報奨金制度」に協力金を増額した上で本年度も参画した。令和7年度中23件の制度適用(だまされたふり作戦による犯人が検挙された際の協力者への報奨金贈呈)がなされて

いる。

(2) 交通事故防止などへの啓発活動

会員各社の警備員、従業員の交通安全に寄与するため、令和4年度から実施している無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリーを9月23日(月)から開始。22チームが参加し、年末までの100日間を無事故・無違反を目指し活動することで、交通事故防止などへの意識付けを図った。

期間中の無事故・無違反を達成できたのは、17チームであった。

(3) 暴力団排除活動

ア 愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会の開催

令和7年9月19日(金)、当協会研修室 会長以下協会職員を含め26名

・ 来賓 同協議会顧問

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課

暴力団対策室長 深田拓司 氏

同課 課長補佐 伊藤博康 氏

同課 課長補佐 中山 章 氏

(公財)愛知県暴力追放運動推進センター 専務理事 舘喜代孝 氏

・ 議題 「令和6年度事業報告、本年度の事業計画」

・ 愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課

課長補佐 伊藤博康 氏

演題「暴力団等の現状と対策」

※ 11月6日(木)愛知県暴力排除団体連絡会会議が開催

イ 暴追あいちの活用

(公財)愛知県暴力追放運動推進センターから発信される「暴追あいち」を当協会ホームページの会員用ページに令和7年度中、10回掲載し、暴力団等の反社会的勢力の排除を会員に徹底した。

(4) 中部防災推進ネットワークへの参画

令和3年から参画した「中部防災推進ネットワーク」について本年9月末までに27回の勉強会に参加し、令和6年能登半島地震の現状や支援状況等の課題、今後発生する南海トラフ地震の被害予想、対策と関係機関団体との連携の在り方など中部における防災に関する各種問題点等について関係団体と情報共有し協会における災害支援活動に反映した。

(5) 大規模災害発生時等における迅速的確な対応に向けた諸対策の推進

令和7年8月31日に田原市内で開催された「令和7年度愛知県・田原市総合防災訓練」に三河支部の藤木支部長、水谷災害対策等委員長及び三河支部の会員会社から精鋭隊員4名が参加し、協会事務局からも専務理事以下4名が参加して緊急物資輸送訓練に参加したほか、警備業をアピールするための展示ブースを設置するなどして警備員の事態対処能力と実戦能力の向上を図った。

これは、愛知県知事との間に締結した「災害時における地域安全の確保等に係る警備業務の実施に関する協定」に基づく災害支援協力隊として初めての訓練であった。

9 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 法人化40周年記念事業

「法人化40周年記念事業」については、同事業のための準備委員会において記念事業の基本的なコンセプトを設定した上で発展的に解消させた上で、本年2月27日に実行委員会として立ち上げ、第1回の会議を開催し、より具体的なプランの検討を実施中である。

(2) 協会への加入促進と認定更新案内の実施

協会への会員の加入促進を積極的に展開したものの、企業合併や組織改編などもあり、令和7年度末現在の会員数は516社であった。

賛助会員は、3社増加して12社となった。

また、認定の更新申請忘れが発生しないよう、更新時期の会員に対して令和7年度中68社に対し通知を行った。

(3) 「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会」への協力

2026（令和8）年9月、開催予定の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」における警備業務面での支援のため、同組織委員会からの訓練用資機材の借用要望に対応し、更なる協力を図った。

(4) 中部地区各警備業協会との連携

- ・ 中部地区警備業協会連合会定時総会及び会長等会議

令和7年6月4日（水）KKRホテル名古屋

議題については、「令和6年度事業報告及び決算報告」「令和7年度事業

計画及び収支予算（案）」のほか、全警協理事辞任に伴う後任理事の選任、連合会長選任など

討議事項

「価格転嫁協議の現状と業界団体である警備業協会の対策について」

- ・ 中部地区警備業協会連合会事務担当者会議及び研修会

令和7年8月8日（月）当協会研修室にて見出しの会議及び翌9日（火）

（一社）全国警備業協会常務理事 楯 悦男 氏、（一社）警備業特別講習事業センター担当者をお招きし、初日（8日）は、中部地区警備業協会連合会各県協会専務理事、事務担当者への今後の協会業務に関する連絡事項を、翌日（9日）には、特別講習申込のシステム化などの研修会を開催した。

特に、特別講習のシステムによる申込方法、受講手順などについて各県協会担当者から積極的な質疑が行われた。

また、今後特別講習の一部eラーニング化についても説明がなされた

- ・ 中部地区警備業協会連合会秋季会長等会議の開催

令和7年11月25日（火）、三重県伊勢市所在の「伊勢シティホテル」にて各県会長、専務理事が参加。

討議事項「特別講習及び警備員指導教育責任者講習の講師獲得方策」

（5）サイバー犯罪被害防止講話の受講

令和7年12月17日（水）、令和7年度第4回理事会に先立ち、近年のランサムウェアによるサイバーテロの発生等が報道され、警備業者に対する被害発生が憂慮されることから、愛知県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課長 松本淳平 氏（当時）を講師に招き、会長、副会長以下各理事、事務局職員が被害防止講話を受講した。